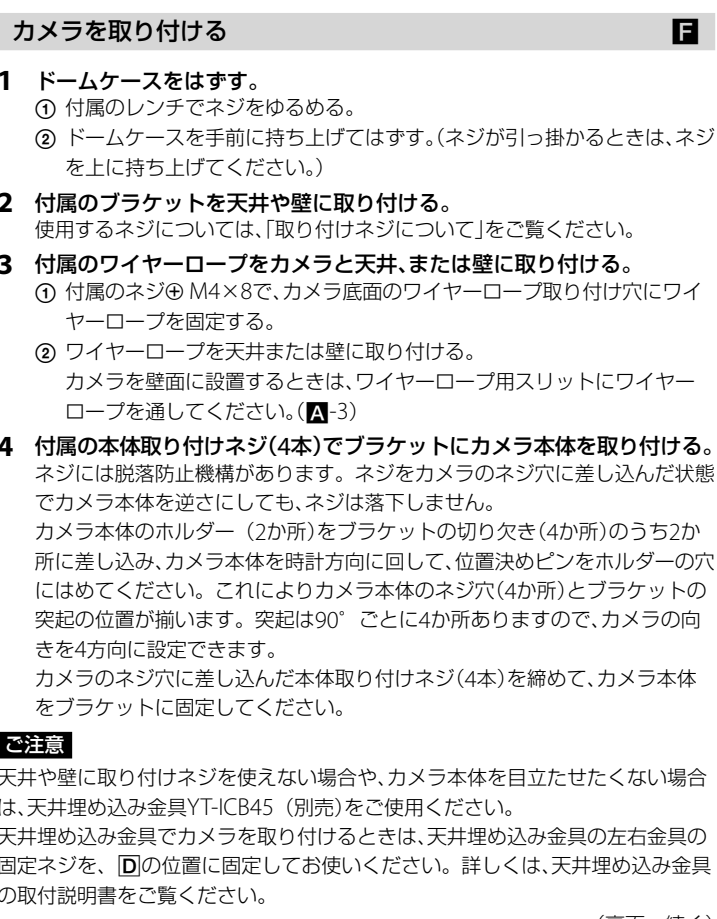
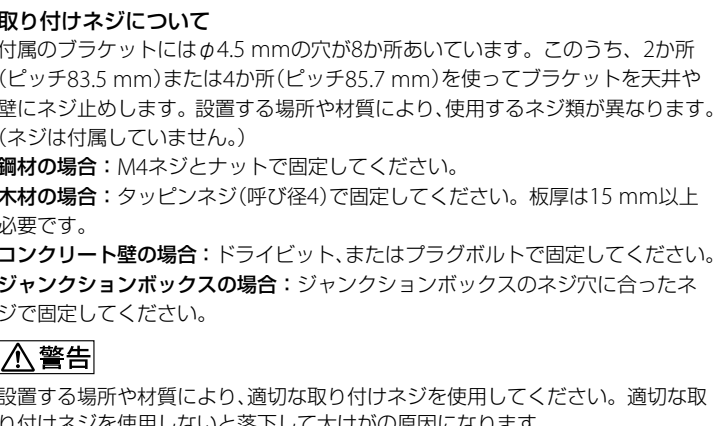
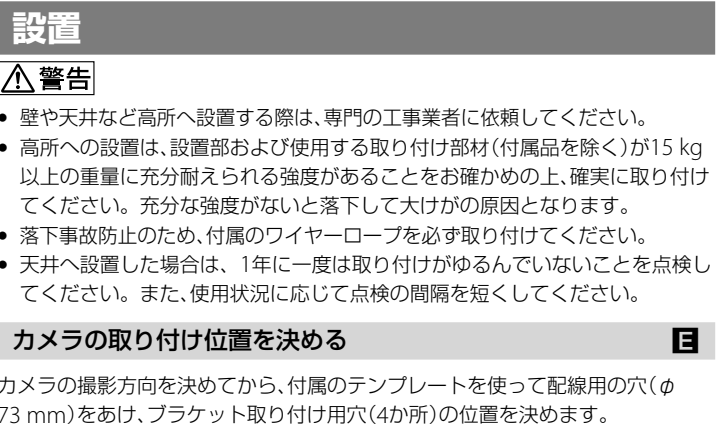
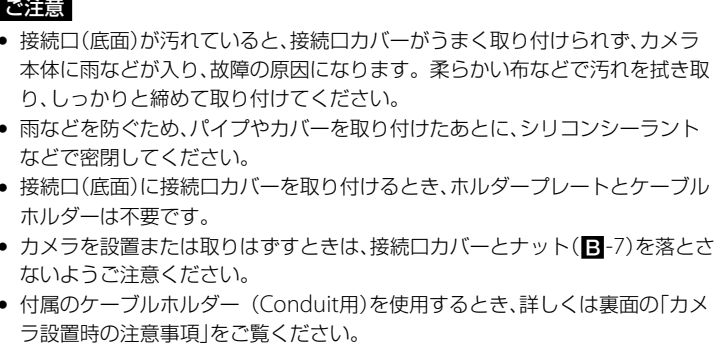
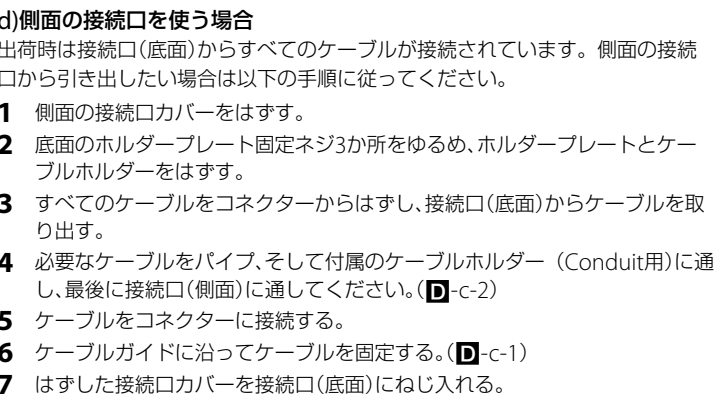
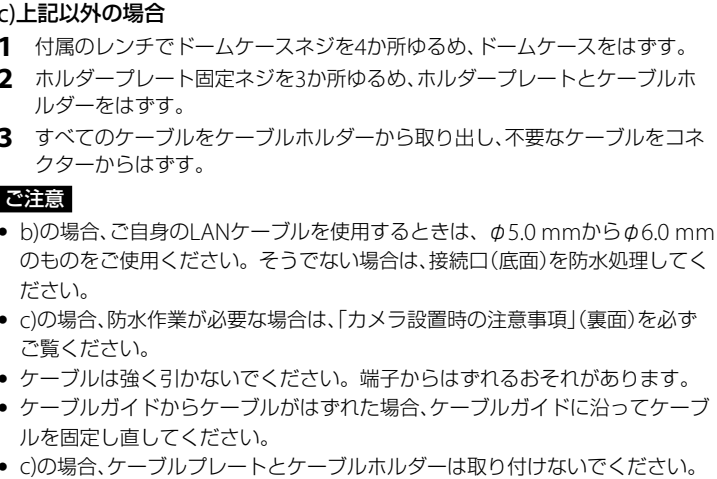
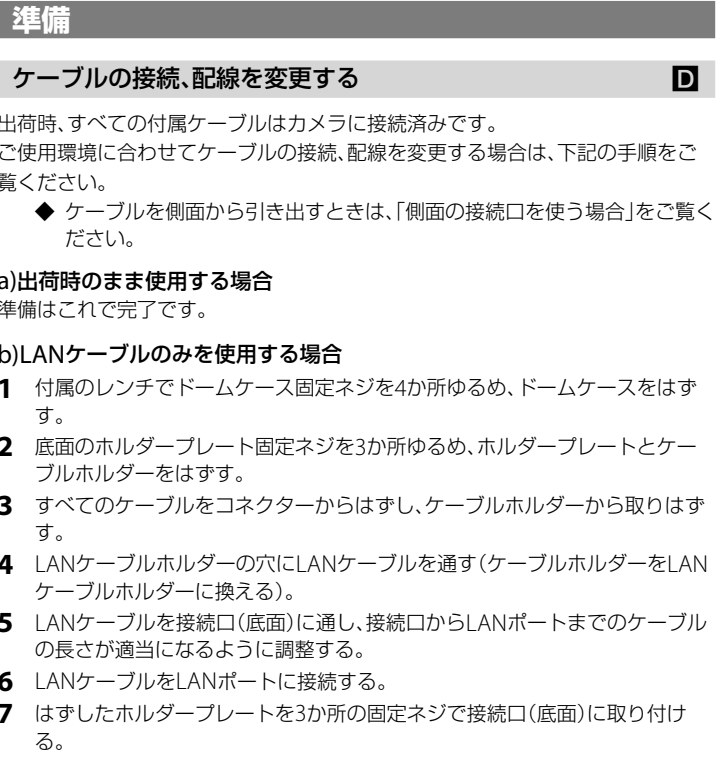
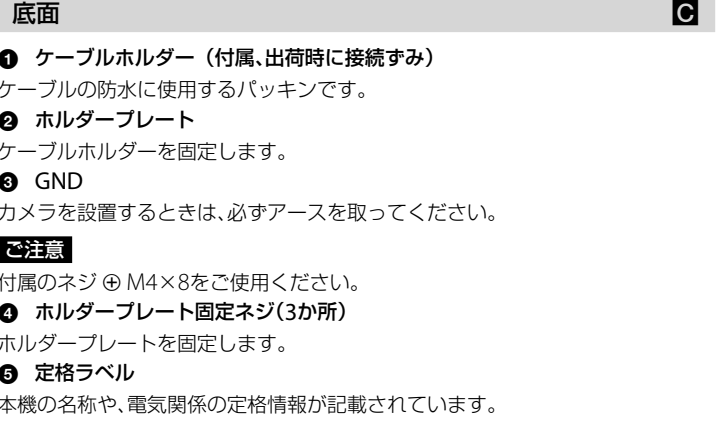
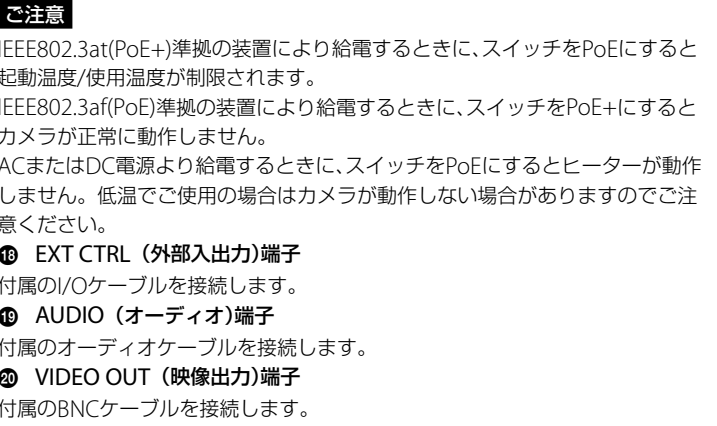
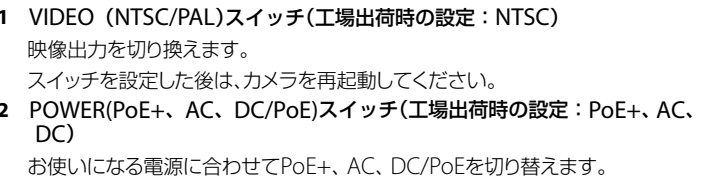
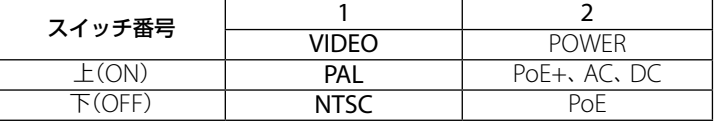
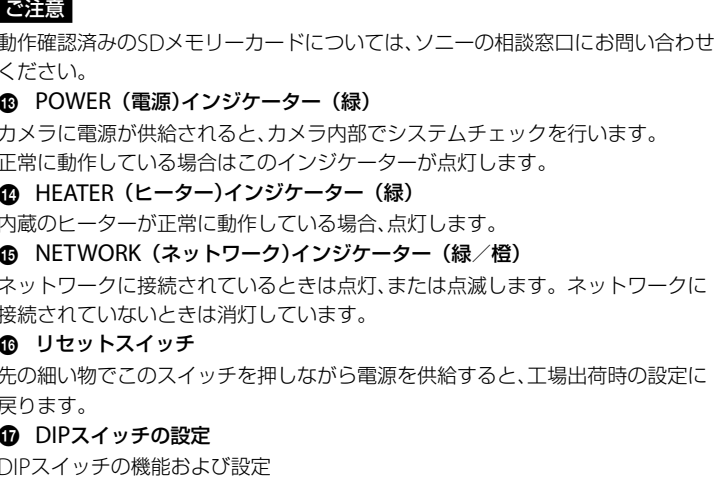
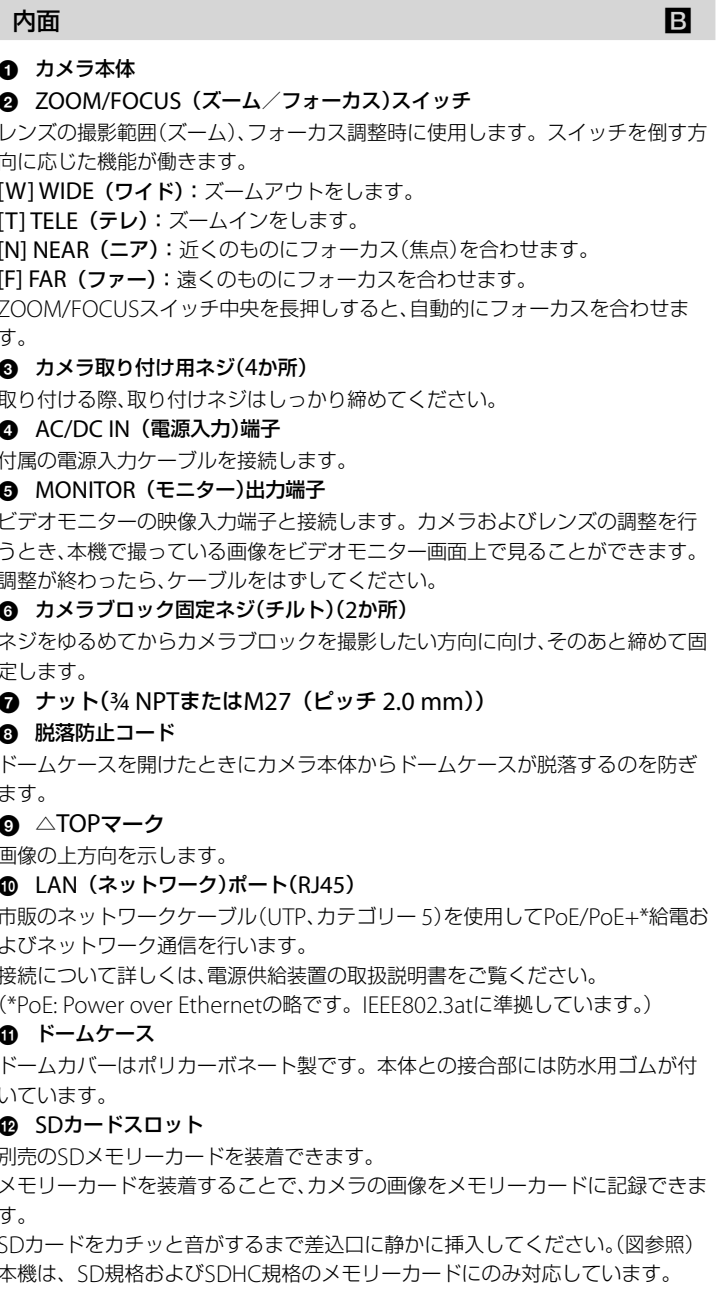
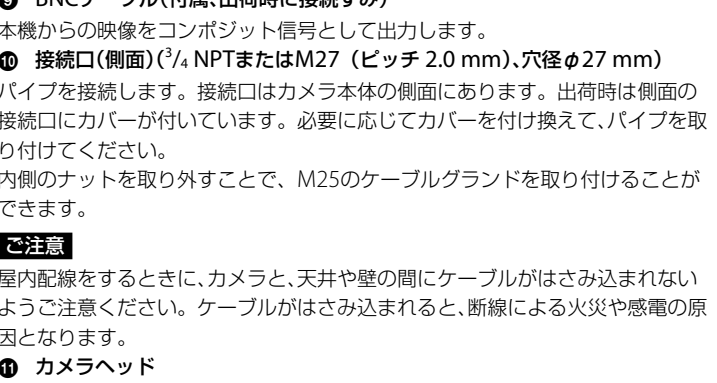
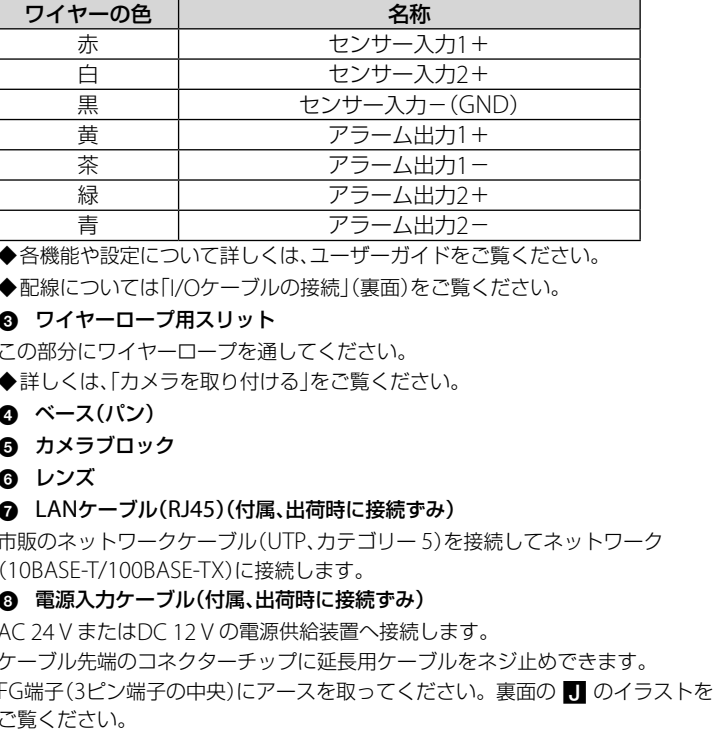
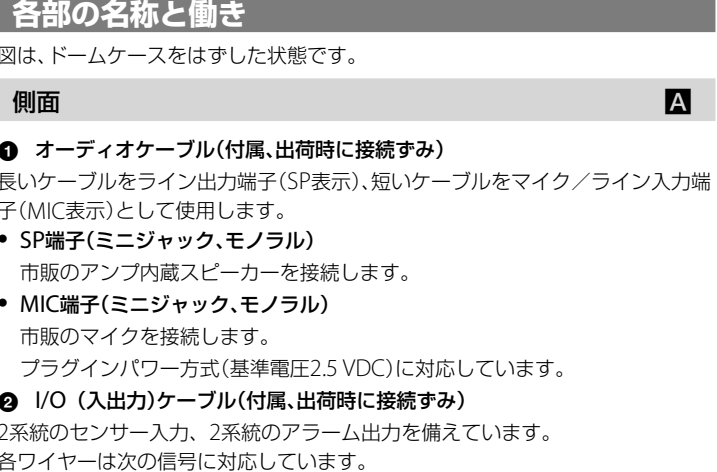
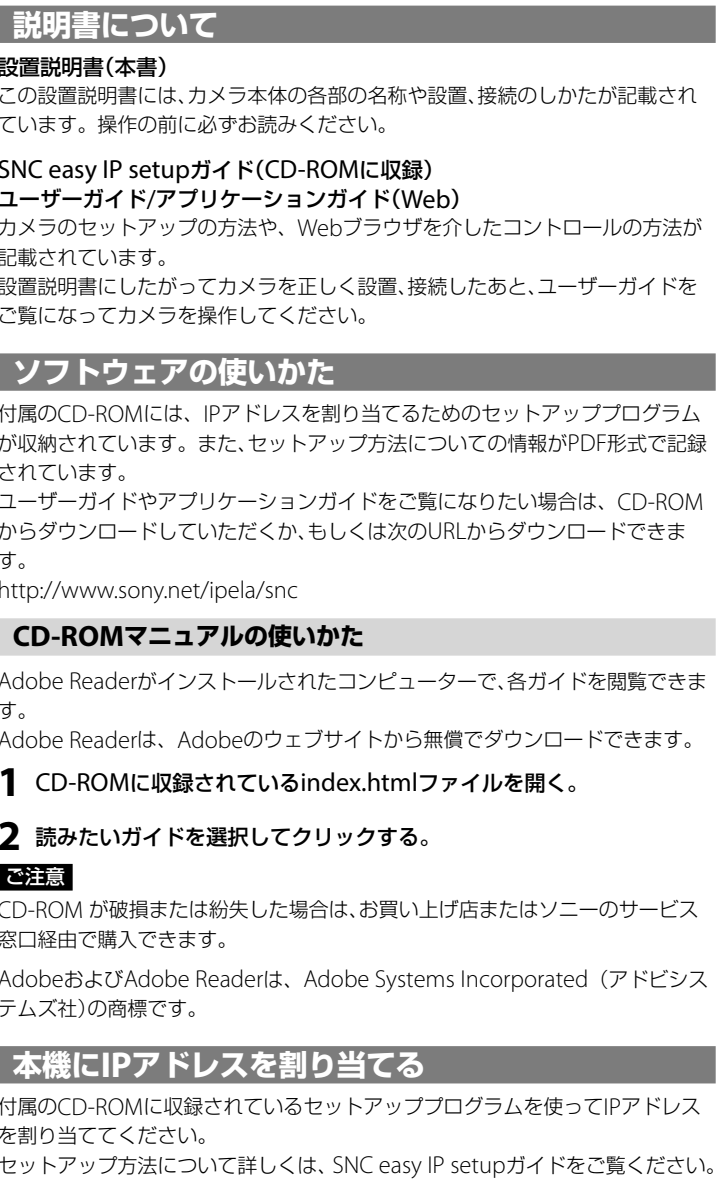
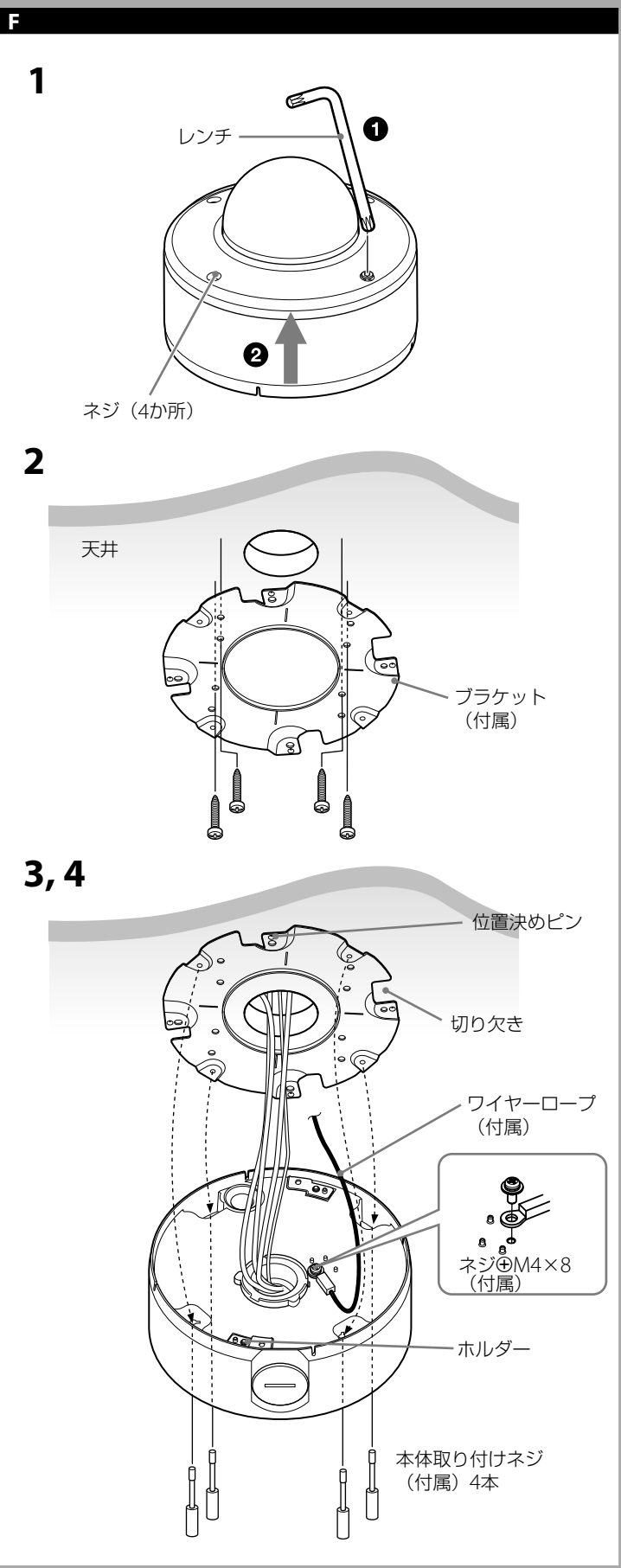
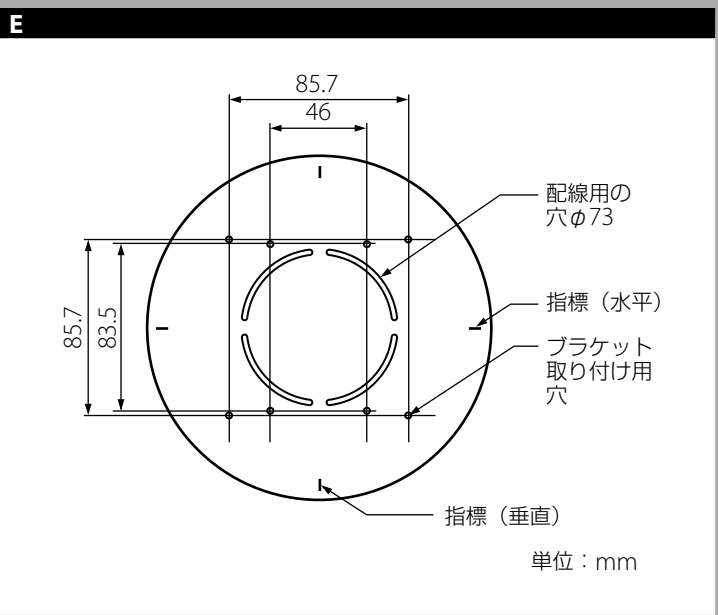
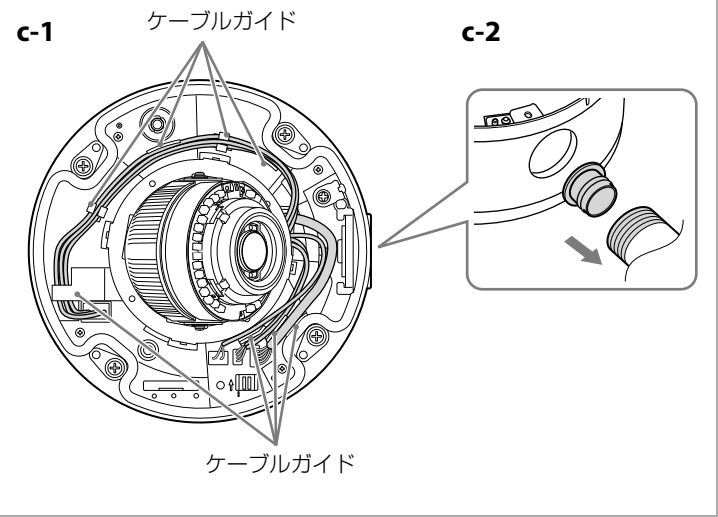
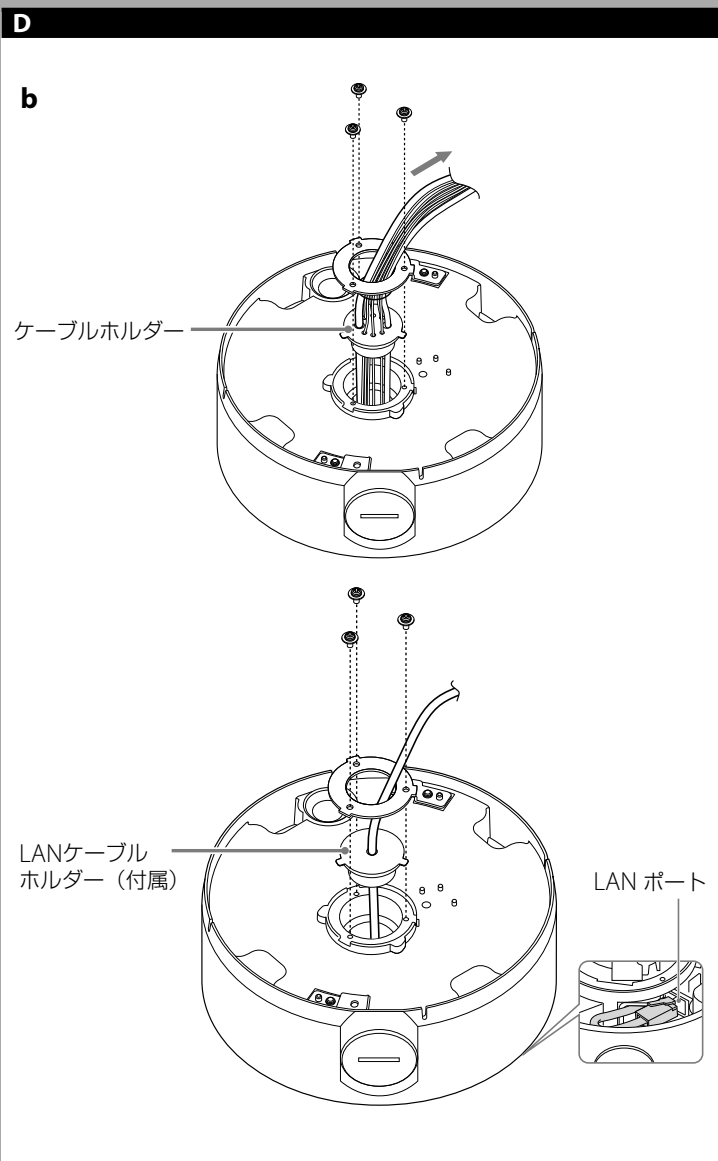
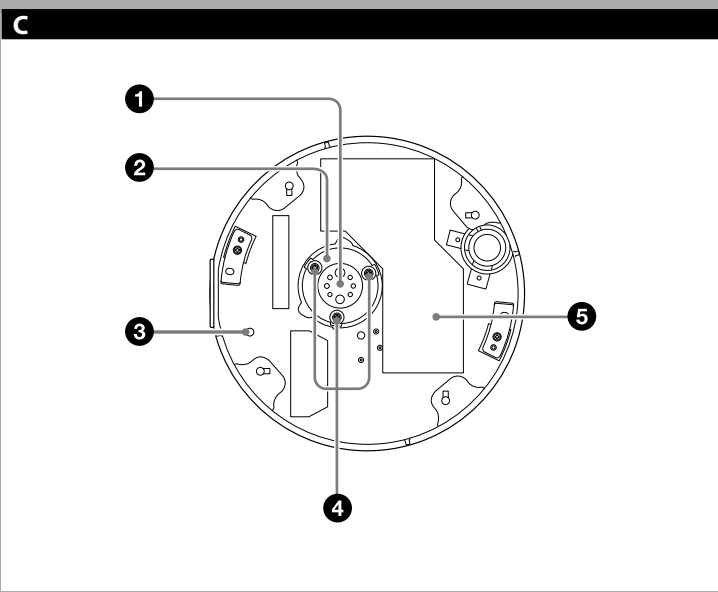
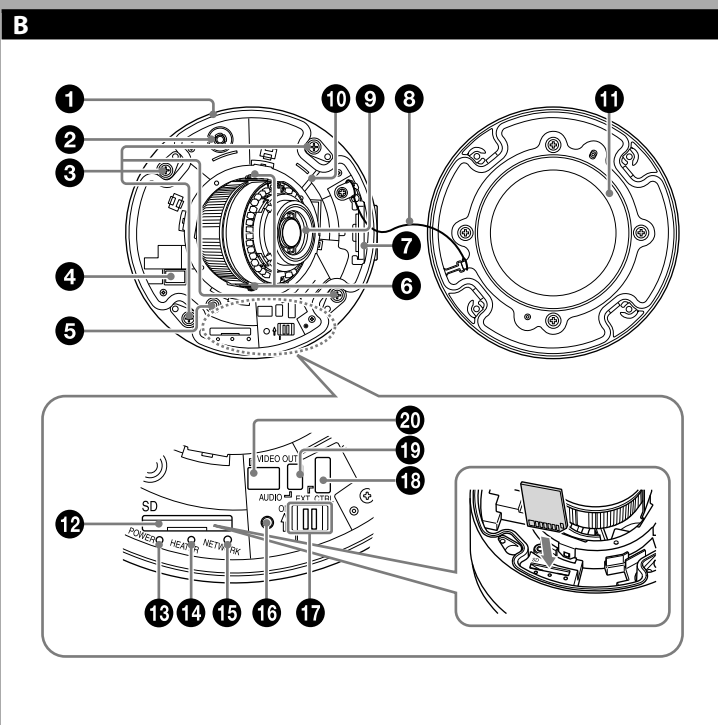
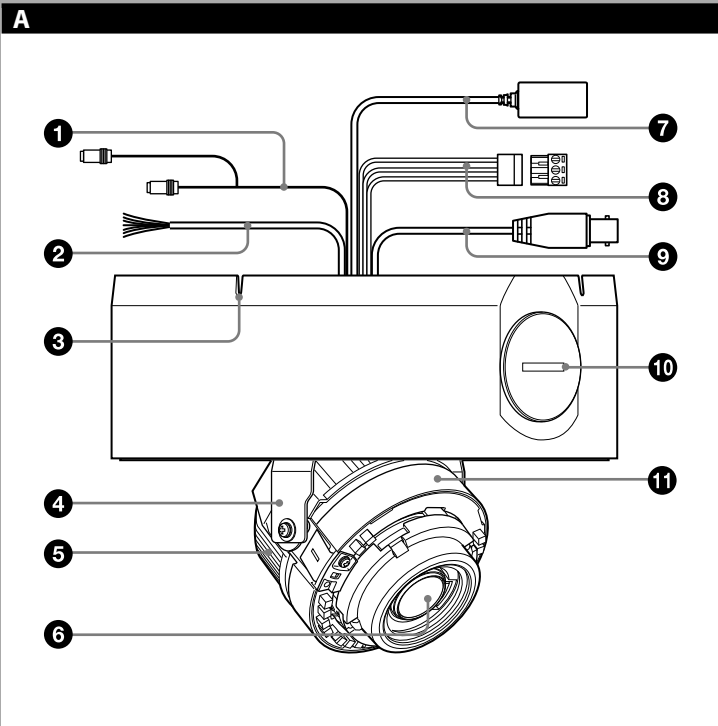


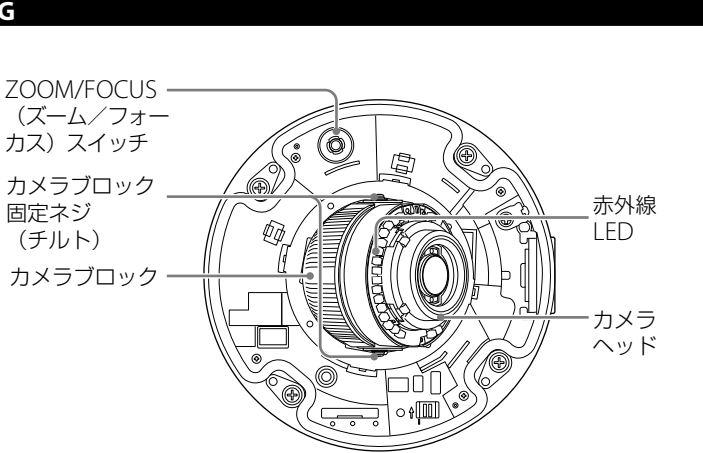
ネットワークカメラ



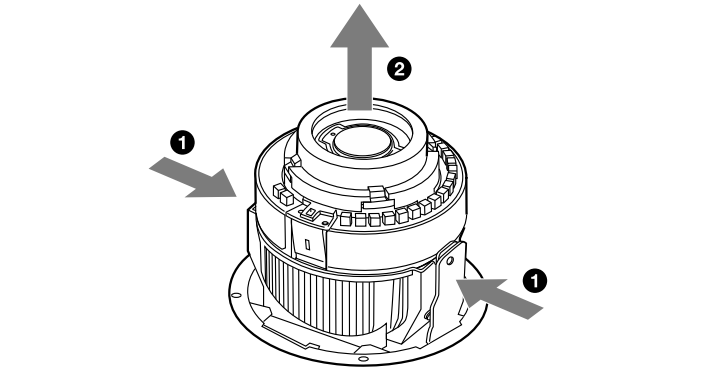
お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

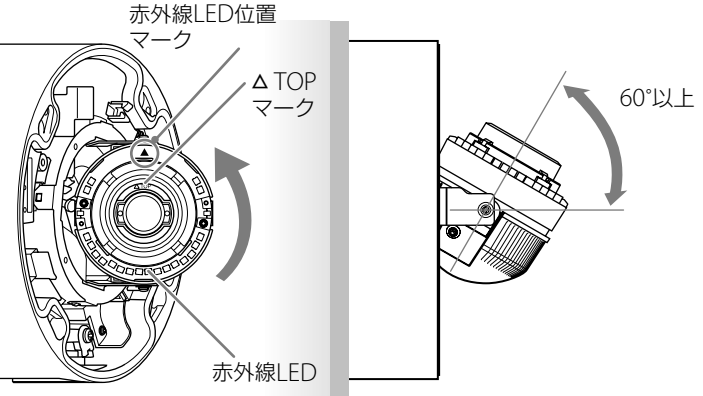




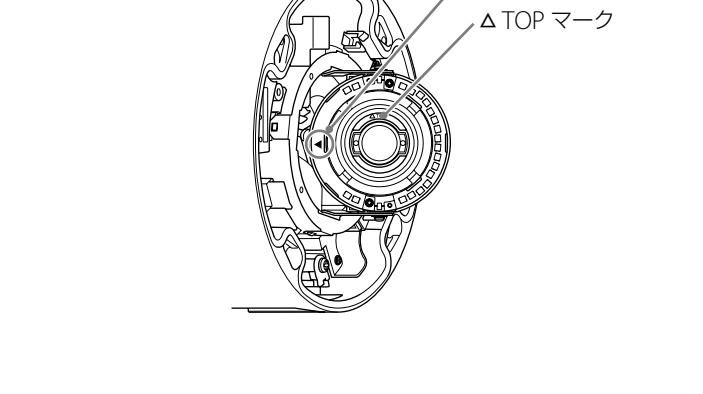
G-1



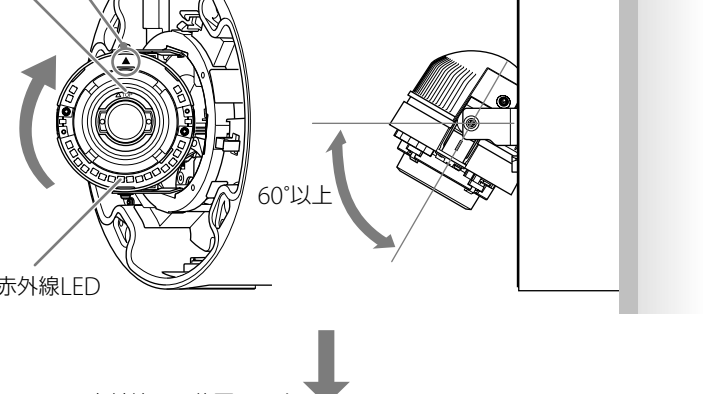
G-2



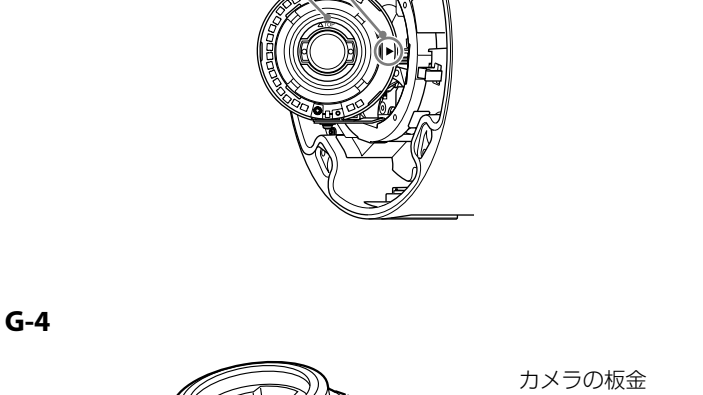
G-3



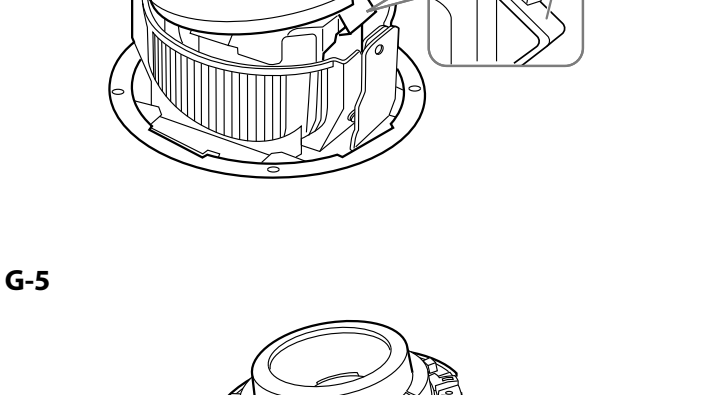
G-4



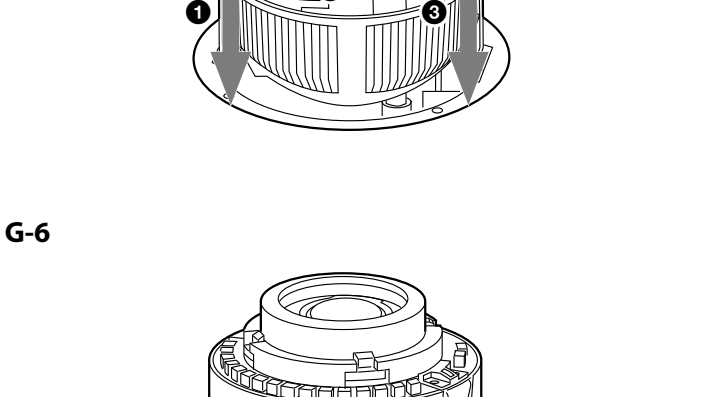
G-5



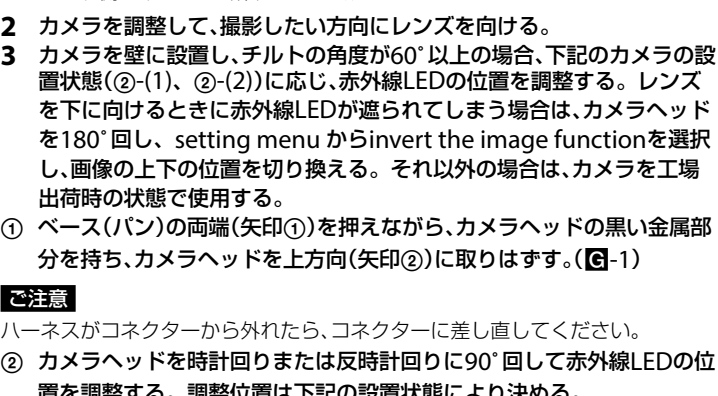
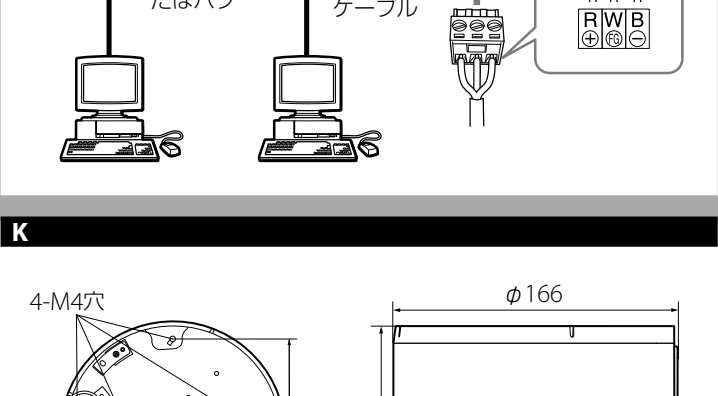
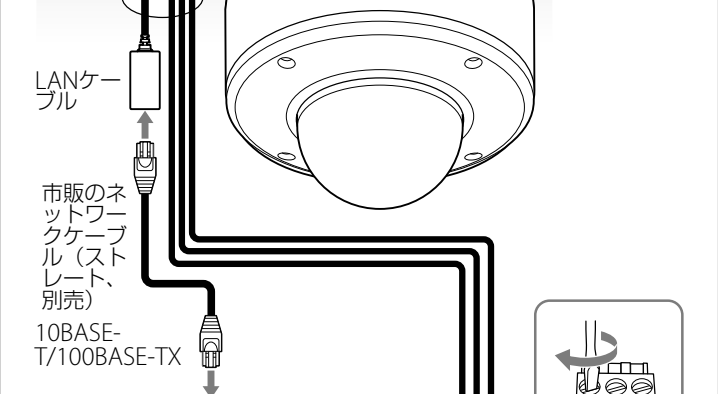
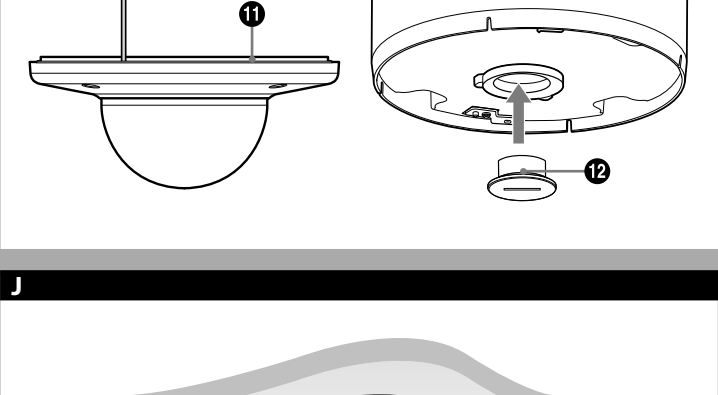
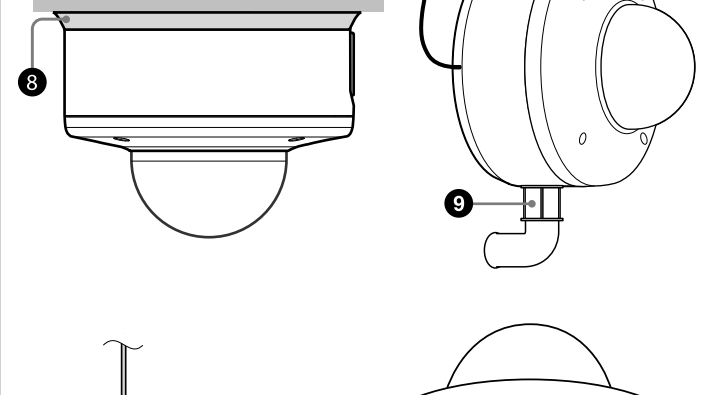
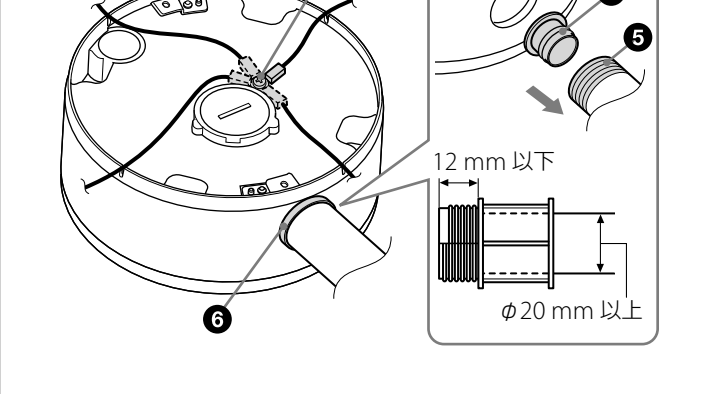
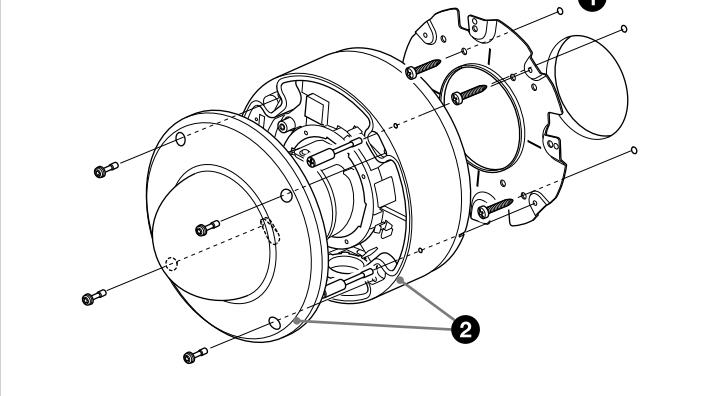
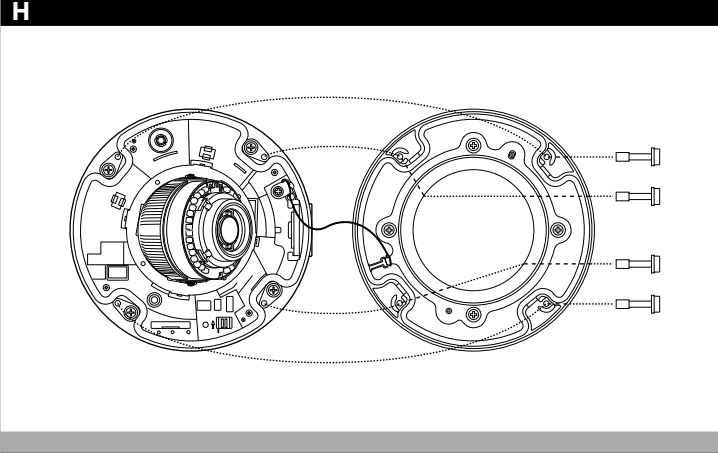
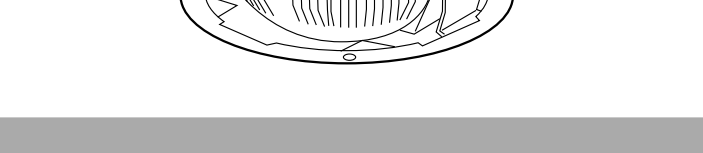
G-6



G-7



G-8



- (2) カメラが正面から見て右を向いているとき (G-3)
- カメラヘッドを時計回りに90°回し、Iマークをカメラの板金「3」の位置に合わせてください。
- ③ ベース(パン)を押さえながらカメラヘッドをカメラブロックにはめ込む。はめ込む前に、カメラヘッドのツメ(2か所)がカメラの板金の外側にあることを確認してください。(G-4)
- (1) カメラヘッドの片側を、下方向(矢印①)にスライドする。(G-5)
- (2) カメラヘッドを反対の方向(矢印②)押しながら、下方向(矢印③)にスライドし、カメラブロックにはめ込む。(G-5)
- (3) カメラブロック固定ネジを2か所締めてカメラを固定し、カメラヘッドとカメラブロックが時計回りおよび反時計回りにスムーズに回転できるか確認する。(G-6)

ご注意

出荷時はマークはカメラの板金「1」に合わせてあります。

- 4 ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒して画角を合わせる。
- 5 ZOOM/FOCUSスイッチを長押しして自動でフォーカスを合わせる。
- 6 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1~5を繰り返す。

ご注意

- 上記の方法で赤外線LEDの向きを調整しない場合、赤外線LEDが隠れてしまい、赤外線照射距離または画質に影響が出るおそれがあります。
- カメラヘッドを取り付けるとき、ハーネスがカメラヘッドのツメとカメラの板金の間に挟まらないようにご注意ください。
- カメラヘッドを取り付けた後、カメラヘッドのツメ(2か所)をしっかりカメラブロックの凹部分にはめ込んだことを確認してください。
- カメラブロック固定ネジをゆるめずカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- 被写体の位置や撮影状況により、ZOOM/FOCUSスイッチを長押ししてもフォーカスが合わないときは、ZOOM/FOCUSスイッチをN/Fに倒してフォーカスを合わせてください。
- フォーカスを調整した直後にカメラの電源を切らないでください。フォーカスを調整してから5分後に電源を切ってください。
- ドームケースを取り付けることによって多少のボケが生じる場合があります。システムメニューでフォーカス調整を行ってください。詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。
- ズームやローテーションによっては、ドームケースを取り付けるとケースが映り込む場合があります。また、ドームカバーの光学保証領域以外のゆがみが映り込む場合があります。
- カメラブロック固定ネジ(チルト)は0.5~1回転より多く回さないでください。ネジがはすれて落下するおそれがあります。

ドームケースを取り付ける

ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかり締めます。

ご注意

脱着防止コードが、ドームケースとカメラ本体の間にはさまないように注意してください。脱着防止コードを回して、ドームケースをカメラ本体に取り付けるときの位置を調整してください。

カメラ設置時の注意事項

- このカメラは保護等級IP66に準拠していますが、本項目は結露または浸水による事故を防ぐための重要な注意事項です。下記の注意事項をよくお読みのうえ、設置してください。
- 接続ケーブルの先端(コネクタを含む)が水に触れないように設置してください。線材内部を伝って浸水する場合があります。
 - ブラケットおよび本体は、段差、異物、ゆがみが無い場所に取り付けてください。(H-1)
 - 設置説明書に従い正しく取り付け、付属のネジで固定してください。(H-2)
 - 落下防止用ワイヤーロープを本体側面から外に出す場合には、ワイヤーを引き出す方向にネジ止めてください。(H-3)設置の際に、ブラケットと本体の間に挟みこまないようにしてください。
 - Conduitに接続したパイプから、接続先の湿気が入らないように、付属のケーブルホルダー (Conduit用)を使うか、パイプ内を封止してください。(結露防止) (H-4)
 - 3/4-14 NPTまたはM27 (ピッチ2.0 mm)の規格でネジ部の長さが12 mm以下および外径がφ20 mm以上のパイプやジョイントを使用してください。ネジ部はシール材を使用して確実に防水してください。(H-5)
 - Conduit部の接続にケーブルグランドを使用する場合、次の条件を満たしたものを使用してください。
 - φ27 mmの穴に取り付く
 - ネジの長さが12 mm以下
 - 設置状況に適した防水性能がある
 - Conduit部の接続にフランジ付きのパイプを使用する場合、フランジと本体の間に隙間が生じるため、フランジと本体間を全周シーリングにより防水処理してください。(H-6)
 - 底面側は防水構造となっています。しかし、「準備」のb)またはc)の場合、カメラにケーブルを接続するときは、底面側に水が浸入しないように、防水処理された筐体や天井に設置してください。または、水が浸入しないように接続口(底面)をシーリングしてください。(H-7)このとき、天井とカメラの結合部分をシーリングして、水が浸入しないようにしてください。(H-8)

- 壁に取り付ける場合
- 側面の接続口を使用する場合は、ケーブルを伝って水が浸入しないように、接続口を下向きに設置してください。(H-9)
 - 高温で直射日光が当たる環境の場合は、SNCA-WP602 Weather protector(別売)を取り付けてください。Weather protectorは雨よけや雪よけにも効果があります。

組み立ての注意点

- 脱着防止コードをドームケースとカメラ本体の間に挟み込まないように注意してください。(H-10)
- 防水ゴムにゴミの付着が無く、きちんと溝に収まっていることを確認してからドームケースを取り付けてください。(H-11)
- 防水ゴムにゴミの付着が無く、きちんと溝に収まっていることを確認してからキャップを取り付けてください。(H-12)

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブルを使って、本機のLANポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方で電源を接続できます。

- DC 12 V
- AC 24 V
- IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置 (PoE/PoE+*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意

- 電源を入れた後、すぐに電源を切らないで下さい。電源を切る場合は、5分程度お待ちください。
- PoE方式で電源を供給する場合、電源入力ケーブルは接続しないでください。
- IEEE802.3af (PoE) 準拠の装置により給電する場合は、PoE PowerスイッチをPoE+、AC、DCにしないでください。

DC 12 VまたはAC 24 V電源への接続

- 本機の電源入力ケーブルをDC 12 VまたはAC 24 Vの電源供給装置へ接続します。
- DC 12 VまたはAC 24 Vは、AC 100 Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。(本機で受ける電圧(受電端電圧)の保証範囲となります。)
- DC 12 V : 10.8 V ~ 13.2 V
- AC 24 V : 19.2 V ~ 28.8 V
- DC 12 VまたはAC 24 Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

推奨電源ケーブル

本機の受電端電圧がDC 12 Vの場合

| ケーブル(AWG) | #14 | #16 | #18 |
|------------|-----|-----|-----|
| 最大ケーブル長(m) | 24 | 15 | 9 |

本機の受電端電圧がAC 24 Vの場合

| ケーブル(AWG) | #20 | #22 | #24 |
|------------|-----|-----|-----|
| 最大ケーブル長(m) | 100 | 63 | 39 |

IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置は市販のネットワークケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

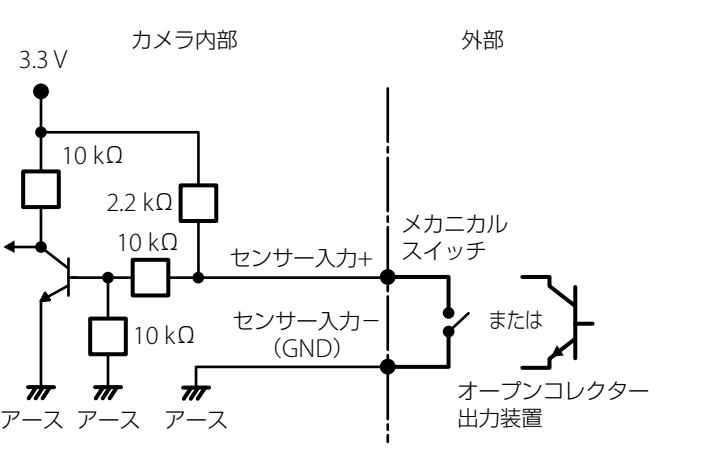
IEEE802.3at準拠の電源給電装置に接続する場合、カメラに供給される電力が、電源給電装置の制御によって制限される可能性があります。この場合、カメラの動作が停止することがあります。詳しくは電源給電装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

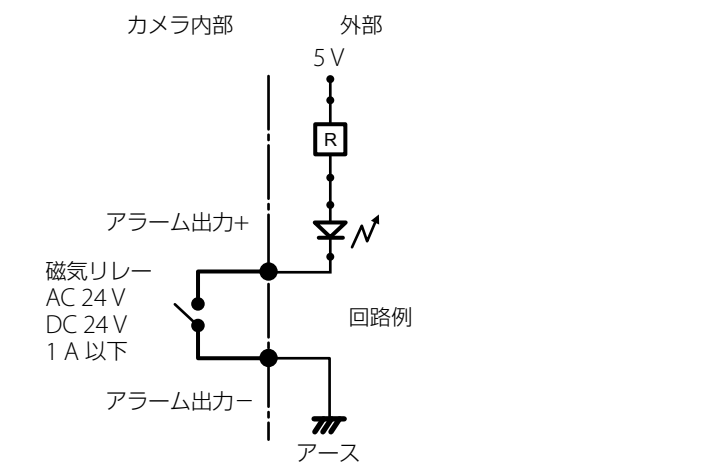
I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置



アラーム出力への配線図



主な仕様

| | |
|-----------|-----------------|
| 圧縮方式 | JPEG/H.264 |
| 映像圧縮方式 | G.711/G.726/AAC |
| 音声圧縮方式 | 60 fps |
| 最大フレームレート | |

| | |
|---------|-----------------------|
| カメラ | |
| 赤外線LED | 20 pcs |
| 赤外線照射距離 | 30 m (50 IRE) |
| 信号方式 | NTSCカラー /PALカラー切り換え方式 |
| 撮像素子 | SNC-VM602R |

| | |
|--|--------------------|
| | 1/3型CMOS (Exmor) |
| | 有効画素数: 約137万画素 |
| | SNC-VM632R |
| | 1/2.9型CMOS (Exmor) |
| | 有効画素数: 約214万画素 |

| | |
|---------|---|
| 同期方式 | 内部同期 |
| 水平解像度 | SNC-VM602R : 600 TV 本(アナログビデオ) |
| | SNC-VM632R : 700 TV 本(4 : 3モニター表示時) |
| 映像S/N | 50 dB以上(オートゲイン最大値 0 dB時) |
| 最低被写体照度 | F1.2/View-DR オフ/AVE* オフ/オートゲイン最大値 MAX/50 IRE (IP) /30 fps |

| | | |
|--|---------------|------------------|
| | SNC-VM602R | |
| | カラー : 0.05 lx | 白黒 : 0 lx (IRオン) |
| | SNC-VM632R | |
| | カラー : 0.10 lx | 白黒 : 0 lx (IRオン) |

* VE : Visibility Enhancerの略です。

| | |
|---------|--|
| レンズ | |
| 焦点距離 | 3.0 mm ~ 9.0 mm |
| 最大口径比 | F1.2 ~ F2.1 |
| 画角 | SNC-VM602R : 1280 × 1024 (アスペクト比 5 : 4) のとき |
| | 垂直 : 73.1° ~ 25.5° 水平 : 92.9° ~ 31.8° |
| | SNC-VM632R : 1920 × 1080 (アスペクト比 16 : 9) のとき |
| | 垂直 : 56.9° ~ 20.1° 水平 : 105.3° ~ 35.6° |
| レンズ可動角度 | パン : -192° ~ +192° |
| | チルト : -7° ~ +75° |
| | ローテーション : -99° ~ +180° |
| | 300 mm |

| | |
|----------|--|
| 最至近撮影距離 | |
| インターフェース | 10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション(RJ-45) |

| | |
|--------|--------------------------------|
| I/Oポート | センサー入力 : ×2、MAKE接点、BREAK接点 |
| | アラーム出力 : ×2 (最大AC/DC 24 V、1 A) |
| | (メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁) |

| | |
|---------------|------------------|
| SDメモリーカードスロット | |
| 映像出力端子 | VIDEO OUT (BNC型) |

| | |
|--------|---------------------------|
| マイク入力* | 1.0 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負極性 |
| | ミニジャック(モノラル) |
| | プラグインパワー方式対応(基準電圧2.5 VDC) |
| | 推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ |
| | ミニジャック(モノラル) |

* マイク入力とライン入力はメニューによる切り換え

ライン出力 ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル : 1 Vrms

その他

| | |
|------|------------------------------|
| 電源電圧 | DC 12 V ±10% |
| | AC 24 V ±20% 50 Hz/60 Hz |
| | IEEE802.3at準拠(PoE/PoE+方式) |
| | 最大 22W (AC 24 V/DC 12 V) |
| | 最大 18W (IEEE8.2.3at (PoE+)) |
| | 最大 12.8W (IEEE8.2.3af (PoE)) |

| | |
|---------------------------------------|--|
| 電源投入時 : | |
| -30℃ ~ +60℃ (IR オフ、DIPスイッチPoE+、AC、DC) | |
| -30℃ ~ +50℃ (IR オン、DIPスイッチPoE+、AC、DC) | |
| 0℃ ~ 60℃ (IR オフ、DIPスイッチPoE) | |
| 0℃ ~ 50℃ (IR オン、DIPスイッチPoE) | |

| | |
|---------------------------------------|--|
| 通電動作時 : | |
| -40℃ ~ +60℃ (IR オフ、DIPスイッチPoE+、AC、DC) | |
| -40℃ ~ +50℃ (IR オン、DIPスイッチPoE+、AC、DC) | |
| -10℃ ~ +60℃ (IR オフ、DIPスイッチPoE) | |
| -10℃ ~ +50℃ (IR オン、DIPスイッチPoE) | |

| | |
|-------------|--------------------------|
| 保存温度 | -20℃ ~ +60℃ |
| 動作湿度 | 20% ~ 90% |
| 保存湿度 | 20% ~ 95% |
| 外形寸法(直径/高さ) | 166 mm × 128 mm (突起部含まず) |

| | |
|-----|--|
| 質量 | 約1,730g (ブラケット含まず) |
| 付属品 | CD-ROM (付属プログラム)(1)、ブラケット(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、LANケーブルホルダー (1)、本体取り付けネジ(4)、ネジφ M4 × 8 (2)、レンチ(1)、設置説明書(本書)(一式、安全のために一式)、ケーブルホルダー (Conduitホルダー用) |

別売アクセサリ

天井埋め込み金具 YT-ICB45*

* 天井埋め込み金具の左右金具の固定ネジを、Dの位置に固定してお使いください。

Weather protector SNCA-WP602

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

| |
|---|
| 定期点検のお願い |
| 本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。 |
| 外観上は異常がなくとも、使用頻度によって部品が劣化している可能性があります。故障したり事故につながる可能性があります。 |
| 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。 |